

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災備蓄倉庫設置事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	食糧、飲料水及び生活必需品等を入手できなくなった市民等に対して配給する。
事業内容	主要な避難所となる小・中学校の余裕教室の利用や他の市施設等に防災備蓄倉庫を設置する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成3年度に本事業を開始したが、平成23年3月11日の東日本大震災を契機として備蓄に対する市民の要求が高まり、この傾向が続いている。一方、近年、児童数の増加により、備蓄倉庫新設のための余裕教室確保が困難となるのみならず、余裕教室を利用して設置した既存の倉庫を廃止せざるを得ない状況も発生した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	防災備蓄倉庫整備済箇所	21	21	22	箇所	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成25年度鯉ヶ崎小学校に備蓄倉庫を整備したが、東深井小学校の倉庫が都合により使用できなくなったため、代替場所を協議中。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		26,041,352	5,312,515	9,720,525			
事業費(b)(円)		18,465,352	3,876,915	6,227,025			
うち一般財源		18,465,352	3,876,915	6,227,025			
職員給与費(c)(円)		7,576,000	1,435,600	3,493,500			
人役・職員(人)		1.00	0.20	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	おおたかの森小中学校及び新体育館における防災倉庫及び防災機能の整備を協議している。 中長期的な備蓄計画を策定する。	③取り組みの課題	避難者に対する迅速かつ確実な配給のため、全ての避難所に備蓄倉庫を併設することが望ましい一方、このためには多額の経費を必要とし、かつ、余裕教室の減少等の課題も生じている。
②今年度(H25)に実施した取り組み	鯉ヶ崎小学校内の余裕教室を利用して倉庫を整備した。 場所により備蓄物資が偏在しないよう、ある程度平準化した。 流山市備蓄計画を策定した。	④今後の改善計画	策定した備蓄計画に基づき、各学校と協議、整備を進める。